

第22巻 PDF 読本



飯田線（辰野～豊橋）

2024年8月21日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 飯田線（本長篠～豊川） 5

第2章 飯田線（豊川～豊橋） 14

第3章 飯田線（辰野～伊那市） 25

飯田線（伊那福岡～天竜峡）

第4章 飯田線（伊那市～伊那福岡） 86

飯田線（天竜峡～本長篠）

総営業キロ 195.7 k m

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 17 弾目として、東海道本線や中央本線に接続する、長野県・静岡県・愛知県を走る、飯田線の旅（総営業キロ 195.7 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 31 作目の節目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2017 年 11 月～2024 年 7 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 61 編（日本横断歩き鉄の旅）

飯田線



2024年7月31日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 飯田線（本長篠～豊川）

平成29年11月3日（金）から5日（日）にかけて、豊橋を軸として、次の路線を歩く。
お蔭様で天や神のご加護があり、3日とも小春日和に恵まれ、いいコンディションでウォーキングをすることができた。感謝あるのみ。

第1章 旅プラン

○2017年11月3日（金） 天竜浜名湖鉄道（西鹿島～気賀：営業キロ16.3km）

東海道本線踏破の際に利用したダイヤで掛川駅まで移動する。

南林間（5時1分）→藤沢（5時33分）・・・小田急線

藤沢（5時49分）→小田原（6時21分）

小田原（6時22分）→熱海（6時45分）

熱海（6時49分）→掛川（8時52分）

掛川（8時58分）→西鹿島（9時58分） “ ” ‘天竜浜名湖鉄道

東横イン豊橋駅東口泊

○11月4日（土） 飯田線（本長篠～豊川：営業キロ23.4km）

本長篠～長篠城～鳥居～大海～三河東郷～茶臼山～東新町～新城（しんしろ）～野田城～東上（とうじょう）～江島～長山～三河一宮～豊川

東横イン豊橋駅東口泊

○11月5日（金） 天竜浜名湖鉄道（気賀～新所原：営業キロ22.9km）

第2節 1日目：11月3日（金）：天浜線（西鹿島～気賀）晴れ

天浜線のため記載割愛

第3節 二日目：11月4日（土）：飯田線（本長篠～豊川） 晴れ

本長篠(8:35)～長篠城(9:11)～鳥(?)～大海(10:12)～三河東郷(11:14)～茶臼山(11:34)～
東新町(11:58)～新城(しんしろ、12:27)～野田城(13:24)～東上(とうじょう、14:11)～
江島(14:38)～長山(15:00)～三河一宮(15:37)～豊川(16:31)

3連休の中日である平成29年11月4日（土）、小春日和の中、辰野から豊橋まで走る飯田線（営業キロ195.7km）のうち、入口区間である本長篠～豊川（23.4km）に挑戦する。本日のコースは、本長篠～長篠城～鳥居～大海～三河東郷～茶臼山～東新町～新城(しんしろ)～野田城～東上(とうじょう)～江島～長山～三河一宮～豊川。豊橋駅を7時32分発の電車に乗り、終点の本長篠駅には8時35分到着。本長篠駅に到着するや否や、歴史のにおいが漂ってくる。

6時前に起床。本日の作戦を練り、7時少し前に食事処“うえ村”で食事を摂る。うっかりして、食事に出る際、部屋に鍵を残して締め込んだため、係りの方にご足労を頂く場面が生じる。このホテル内にある食事処は朝食のみで、夜は営業していないとのことであった。7時32分の電車で本長篠駅まで移動する。



飯田線とは

少なくとも、本長篠から豊橋までは天浜線と異なり、電化された単線の車両であった。駅員さんに聞いたところ、豊橋から中部天竜位までは鉄道つたい歩きができるが、中部天竜から天竜峡の区間は秘境駅が多く歩くのが困難とのアドバイスを頂く。それ故、山陰本線の保津峡駅と同様、飯田線の一部は列車に乗っての踏破となろう。これまでのようなコースではないと察知する。

当初は本長篠から豊橋までの区間（32.1km）を考えていたが、昨日の教訓を生かし日没の関係で豊川までとする。昨日の疲れもあり、豊橋から本長篠の区間、窓からの本日のコースをウオッチすることなく仮眠状態となる。本長篠駅で乗務員の方に「終点ですよ」と起こされる始末であった。それ故、鳥居駅は未踏破となり、大海駅から三河東郷駅に向かう際、昨日と同様とんでもない方向（山道）に進もうとする事態となった。少し変だと思ひ、地図を点検して大正解。少なくとも、昨日の気賀と異なり、辺りは明るくかつ”鉄道案内人”のひとつである電柱が辺りに見当たらないことが援軍となった。加えて、新城駅から野田城駅の区間でも線路が右手の方向にあると思ったが、どこかで鉄道が道路と交差する箇所を見逃しいつの間にか左手にあった。それ故、右往左往するが数人のご尽力を得てやっと野田城駅を踏破できホッとする。



本長篠駅

本長篠駅には8時35分到着。色んな角度から本長篠駅をデジカメに収めてスタートする。駅前で庭木の手入れしていた人と5分位雑談してからのスタートとなる。歩くや否やウォークマンの電池切れに気付く。8時54分、伸東電装前を通過。8時55分、施所橋（大井川）で竹藪が茂る川底からセミの鳴き声を聞く。国道257号線を歩く、9時11分、長篠城駅に到着。駅前で長篠城址史跡保存館（0536-32-0162）をメモする。運よく、道なりに歩いた先に保存館（9時20分）があった。この保存館で10分位立ち寄り、長篠の合戦を勉強する。馬場信房の最期や鳥居強右衛門の勇気が強く印象に残る。武田の騎馬隊の勝頼がもう少し

辛抱強く生きていけば、日本の歴史は大きく変化していたかも知れないと……。9時39分、馬場美濃守の墓跡に運よく立ち寄ることができる。



長篠城駅 長篠城址跡保存館



鳥居強右衛門の勇気 武田信玄の雄図

9時43分、道の駅“こんたく長篠”前を通過。その先で豊橋、豊川、設楽（したら）のある道路標識前を通過。9時46分、222歩ある長篠大橋（豊川）を渡る。豊川の川岸では紅葉が始まっていた。9時57分、松平伊忠戦死之地前を通過。この界限で右往左往する。その結果、鳥居駅をデジカメに収めるのを見逃す。10時5分、大海交差点を左折、その先に大海駅（10時12分）があった。何故、山の中にも関わらず、このような駅名であるのか理解に苦しんだ。



長篠大橋

鳥居駅界限

大海駅

この駅でとんでもない方向に進もうとしていた。地図を点検が功を奏した。山道を1 km 位進んでいた。再度大海駅前には10時29分であった。東郷郵便局があった。長篠踏切を横切り、鉄道の左側となる。10時35分、ラリーと記したマスコット（女性）と対面。10時41分、高速道路下を通過。10時45分、純米大吟醸“空”前を通過。ここで下り列車とすれ違う。10時59分、道の駅前を通過。11時12分、三河東郷駅に到達。ここでうっかりして、万歩計は5,150歩のまま更新しておらず。万歩計での統計では誤差が多いことを改めて認識する。11時32分、ガード下を潜り鉄道の右側となる。その先に茶臼山駅（11時34分）があった。この駅もうっかりすると未踏破となる可能性は多々あった。



路に迷いそうになった山道

三河東郷駅への路



三河東郷駅

茶臼山駅

暫く鉄道に沿って歩き、11時38分富沢踏切を横切り鉄道の左側となる。曇り空となる。11時52分、豊橋21km、豊川15km地点に到達。11時58分、東新町駅に到達。辺りは黒い雲で覆われる。雨がポツリと降って来て、12時3分リュックに雨具を着せるが、八幡神社(12時8分)辺りで雨が上がり雨具をしまう。12時21分、晴れ模様となる。12時27分、新城(しんしろ)駅に到着。12時38分、新城市民病院があった。



東新町駅 (瞬間的に雨がポツリ)

新城駅

ここから、野田城までは随分遠かった。12時50分、“力一杯”の標語が印象的な新城市立千郷小学校前を通過。線路が右にあると思っていたらいつの間にも左となっていた。何にもの人のお世話になり、13時24分、野田城駅を踏破できる。13時30分、横浜ゴム(株)新城工場前が線路に沿ってあった。ここから山道を歩く。14時8分、17歩の境橋(境川)を渡る。13時42分、千郷神社前を通過。13時48分、13時49分、ミラーで自分の画像を撮る。13時50分、電車と対面する。14時3分、川田踏切を横切り鉄道の右側となる。14時11分、東上(とうじょう)駅に到着。暫く歩いた先で北田第二踏切を横切り、再度鉄道の右側となる。14時23分、宮前踏切を横切り、鉄道の左を歩く。



野田城駅への路

野田城駅



東上駅への路



東上駅

江島駅への案内板を見つけ、坂道を上った先に江島駅（14時38分）があった。下り電車がやって来る。国道151号線を歩く。14時44分、豊川市東上町を通過。15時、坂を上った先に長山駅があった。



江島駅



長山駅

15時7分、左手に竹並木を見つける。15時8分、豊川市立一宮東部保育園前を通過。15時37分、三河一宮駅前を通過。この駅で上り下りの電車が対面する場面に遭遇する。15時58分、高速道路下を潜る。16時、レジャー施設前を通過。16時14分、豊川変電所前を通過。16時31分、狐の像が印象的な豊川駅に到着。ここで次の駅の牛久保も考えたが、昨日の教訓を勘案し、アップする。16時49分の電車で豊橋に向かう。東口にある東横イン（411号室）には17時25分到着。ホテルの紹介で“海ぼうず”で本日の疲れを癒す。本日の営業キロは23.4km、万歩計は40,297歩だった。



三河一宮駅



豊川駅

豊川駅



本日一番のタイムリーヒットは、長篠城址跡保存館に立ち寄り、民放テレビで数十年前若林豪が演じた”鳥居強右衛門（すねえもん）”の勇気、馬場信房の最期などを観賞できたこと。また、豊川駅前の狐の像はよかった。更に、東横インの推薦の”海ぼうず”での刺身の盛り合わせは、三河湾の幸が堪能できよかった。ホテルにつき、2次会は日本シリーズ6戦を肴にして、本日の疲れを癒す。充実した一日となった。



東横イン



海ぼうず



第4節 三日目：11月5日（土）：天浜線（気賀～新所原） 晴れ

天浜線のため記載割愛。

ここから浜松まで在来線、浜松から小田原まではこだまで。そして、小田原から在来線に乗り継いで自宅へ。新幹線は3連休の最終日ということもあり満席状態であったが、無事席を確保でき祝杯をあげる。